

# 防災気象情報と5段階の災害警戒レベル

令和3年5月より、避難情報の名称が変更となりました。新しい災害警戒レベルを理解し、日頃から取るべき行動をしっかりと確認しましょう。また、身の危険を感じたら、災害警戒レベルにかかわらず、**早めの避難が大切です**。

警戒レベル	気象庁からの情報	発令時の状況	住民が取るべき行動
<b>5 緊急安全確保</b> 避難が難しい場合は少しでも命が助かる行動を	記録的短時間大雨警報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など	<b>極めて危険</b> 数十年に一度の強い大雨 	<b>避難を完了</b> 避難していない場合は、直ちにその場から避難してください。避難することでかえって危険な場合は、建物のより安全な場所（建物の上階や崖から離れた部屋）に移動してください。
<b>4 避難指示</b> 速やかに安全な場所へ全員避難	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など	<b>非常に危険</b> 大雨が一層激しくなる 	<b>速やかに避難</b> 避難に時間を要する人は避難を終えましょう。また、逃げ遅れの人が出ないように近所へ声掛けをしながら、安全な道を通って避難しましょう。
<b>レベル4発令前に 全員避難！</b>			
<b>3 高齢者等避難</b> 高齢者、身体が不自由な人、乳幼児などは避難	氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報	<b>警戒</b> 大雨の数時間前～2時間程度前 	<b>積極的な避難支援</b> 避難に時間を要する人が負傷しないよう、避難支援者は配慮するようにしてください。その他の人はいつでも避難ができるよう、最終確認を行いましょう。
<b>2 避難準備</b> 避難場所や避難ルートの再確認を	氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報	<b>注意</b> 大雨の半日～数時間前 	<b>準備と連絡</b> 必要に応じて、早めの避難をしましょう。親戚や知人とも連携を図っておくことも大切です。
<b>1 情報収集</b> 最新情報に注意し、災害への心構えを高める	早期注意情報 大雨の数日～約1日前	大雨の数日～約1日前 	<b>今後気象状況が悪化する恐れ</b> 台風が近づくなどして、雨や風がだんだんと強くなっています。

## 「避難」とは「難」を「避」けること。

下の4つの行動があります。普段からどう行動するか決めておきましょう

### ●行政が指定した避難所への立退き避難

※マスク、消毒液、体温計、スリッパ等は自分で携行しましょう。



### ●安全な親戚や知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



### ●安全なホテル・旅館への立退き避難

※通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



### ●屋内安全確保

- ①から③の「3つの条件」が確認できれば、浸水の危険があっても自宅に留まり、安全を確保することも可能です。  
 ※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。
- ①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
  - ②浸水深より居室は高い
  - ③水がひくまで我慢でき、水や食料などの備えが十分

